關西大學學友新聞

編輯兼發行人　富塚豐

發行所　關西大學學友會新聞部
大阪市東淀川區長柄中通二

專門部主事更迭

三千學徒渇仰の的 河村宜介教授就任

去る武田主事の業績惜まる

學園復興に多大の貢獻

河村新主事

武田前主事

天六學會驛工の背、專門部主事として迎へられ獨來七年有餘の年月を個に專門部の爲めに盡瘁された武田藏之助氏は最近に至り各方面に於て重要な役割を持たれて居り諸般の事情が相伴れず、今後到底專門部に引止める事の不可能なる狀態に立至つたので此度愈々退任を決心され先靈理事會に辭表を提出中であつたが、去る六月十日正式に承認されたので同氏の退引は確實となつたのであるが、氏が專門部に殘された業績は大きく愛惜に尙餘りあるものがあり、同氏が在職の間には相當大なる問題が横たはり、仁保前學長を補けて傾きかけた關西大學を今日の隆盛に引戻したのも、その蔭に大きな努力が潜在してゐると云ふ事を擧げなければならない、亦學友會副會長としての職責も大龍鳳が矢から矢へと渡たはつて居り、それを巧みに切り拔けて在職八年を全うせられたことは今更感慨深いものがある

蹟であり風評に擧つて居た河村宜介教授が就任されることに決定、專門部は同教授の就任によつて其手腕に於て卓越せる獨は學友の等しく認むる所であり愈々偉大な基礎を築かれるものと見られ學生一般の渇仰の的である教授の明晰なる頭腦と敏腕とは充分に期待出來よう、一方吾々の先輩として今や先輩教授及學生が益々密接なる關係を保つことを要望して居る時、かうした結果を生んだ事は喜ばしいことであると共に永年の宿望が遂げられたと見てよい

尙同氏は山口縣萩町出身、明治三十年七月七日生、大正十年三月關西大學專門部師範科卒、同十四年京都帝大經濟學部卒、昭和三年四月關西大學講師囑託、昭和五年より去月十日まで教授として在職中であつた——。

〝革新的色彩を濃厚にした大學祭に〟

初の打合せ會了る

去る六月二十一日午後七時より本部三階會議室に於て千里山、一部二部學友會の主脳者が會合し本秋開催される第十二回大學祭の打合せ會を早くも開催したが、先づ千里山學友會委員長稲若君議長に開會を宣し、次いで千里山から自己紹介に入り一部二部を巻れば議の形式を以つて愈々打合せに入つた、その結果大醤の日取は十月十六、七兩日と決定した、十月五日にはBKのマイクを通じて學長の講演を放送し大學祭の前奏曲を以てオール大阪を關大色に塗りつぶさうと言ふ意氣込である、尙出來得れば學長の講演後音樂部員によつて學徒の吹奏を行ひ大學祭氣分を滿喫せしめようと言ふのであるがこの問題については相當考慮を要するので放送局との間に大學祭挿行委員によつて交渉される筈である、十六日は大體中央公會堂に於て講演會を開催、十七日は千里山に於て華々しく祭典を擧行することになつた、殘に本年度大學祭は革期的なものにしたいと言ふ希望があり、具體的なものとして三部對抗競技で相互の競爭意識を深めようと云ふのであり又先般行つたデ式獨球についてはその意見交換をしたが結局廢止されることに決定した革期的大學祭の具體案に關して當日三部とも熱案なく發表することが出來ないので、六月二十八日再會の筈であつたが都合上延期されたのでまだ具體案は見ない

生徒主事に 和田豐二教授就任

專門部主事更迭に伴ひ、六月十日より和田豐二教授は生徒主事として就任、獨後さらに學風の爲に盡瘁される筈で吾々は河村教授の專門部主事就任と共に愈快に堪へない、就中和田教授は本學の先輩であり、學友會にも充分の理解があり、事業も圓滑に運ばれそのもと見てよい

〝隊規要綱〟成り 肅正隊發動す

全學提携は勿論 警察の應援も仰ぐ

〝精神文化建設〟の先鋒として打ち出された風紀肅正の警鐘は今や學園に隈なく響き渡り、父兄擧げて相呼應し愈々具體的に行動を起すとなつた、去る六月廿二日本學本部三階御眞影奉安室に於て結成式を擧行し、も早同隊の行動は開始されたがこの運動の勝來性は社會一般に有望視され、學校當局の諒解も非常によい、而し一方一般學生の自重自省を待つ處大なるが故に同隊は一般學生に特に反省の警告を發してゐる

殘ねん本紙上に於て喧傳された〝隊規要綱〟は別項に掲載せる如くであるが、學内は勿論學外に於ける一般學生の風紀紊亂を矯正取締り、一方大阪に根居する偽學生撮滅に努力する筈である、今後學園の風紀向上と社會一般の本學に對する信頼的言辭をも充分に是正し、正しき認識を扶植せんとしてゐる、なほ同隊は各警察とも充分緊密な連絡をとり、支援を得てこれが實現に邁進しつゝある

殊性を充分考慮に入れて完成された〝隊規要綱〟は別項に掲載せる如くであるが、學内は勿論學外に於ける一般學生の風紀紊亂を矯正取締り、一方大阪に根居する偽學生撮滅に努力する筈である、今後學園の風紀向上と社會一般の本學に對する信頼的言辭をも充分に是正し、正しき認識を扶植せんとしてゐる、なほ同隊は各警察とも充分緊密な連絡をとり、支援を得てこれが實現に邁進しつゝある

第一によいと思つたことは自治の精神が高揚されてゐることであり第二は一部、二部協力によつてやられたと云ふことも私達が最も期待してゐる處である第三は肅正隊の名及徽章の肅

風紀肅正隊の 嚴肅な結成式

誓約書に署名捺印

栗田運動部長が幹旋して最近輝く幹事會の承認を經た風紀肅正運動の肅正隊結成式は去る六月二十二日午後七時より本部御眞影奉安室に於て擧行され、先づ開式の辭として第一部隊長として就任した山下君の挨拶があり、次で一部、二部隊員に亦る風紀肅正隊々規要綱を栗田君の説明があり代つて神村專門部主事の訓辭に移入つた内容は大略次の樣に述べた

この運動は非常に結構だと思ふ

〝隊規要綱〟の先鋒として打ち出された風紀肅正の警鐘は愈々具體的に行動を起すとなつた、去る六月廿二日本學本部三階御眞影奉安室に於て結成式を擧行し、も早同隊の行動は開始されたがこの運動の勝來性は社會一般に有望視され、學校當局の諒解も非常によい、而し一方一般學生の自重自省を待つ處大なるが故に同隊は一般學生に特に反省の警告を發してゐる

就任の挨拶

專門部主事　河村宜介

今回不肖私は武田前主事の後任として本學專門部主事の重任を拜命致しましたことは私の洵に光榮とするところであります、固より淺學非才にして克く其職責を果し得るや自ら省みて誠に恐懼たるものがあります、然し一旦御引受け致した以上飽くまでも微力を盡し本學專門部の向上發展に努力する決心であります

今を去る五十有餘年の光輝ある歴史を有し夙に眞實剛健の學風謳はれ幾多有爲の材を社會に送り我國に於ける私學の最高權威として君臨して來たのは周知の事實であります、而して本學の今日あるは實に幾多先輩諸賢の眞摯なる研鑽と刻苦經營の結果に外ならないのであります

然るに翻つて本學專門部の現狀をみますのに其施設に於て内容に於て決して理想的に充實完備してゐるとは云へないのであります、尙幾多の改善を要するところが尠くないと思ふのであります、これが改善をはかり向上發展を期するためには申すまでもなく學長統理の下に教職員及び生徒が協力一致打つて一丸となり各自が確固たる信念に燃え旺盛なる熱意を把持し邁進の氣魄に充ち而も常に歡喜と感謝の念を忘れないやう一歩、一歩健實な歩みを續けて行かなければならぬと思ふのであります

時恰も本學に於ては學德並び高い神戸正雄博士が學長兼專門部長として新に就任せられ既に其萬遍無き教育方針並に抱負を種々の機會に於て述べられてゐるのであります、從つて私は此方針に基き教職員各位の協力を得て萬遺憾無き樣に本學專門部の實現に努力致しましたことを以て理想的な明朗學風の實現に協力せられんことを切に希望して止まない次第であります

駑才にして克く其職責を果し得るや自ら省みて誠に恐懼たるものがあります、然し一旦御引受け致した以上飽くまでも微力を盡し本學專門部の向上發展に努力する決心であります

退任

前專門部主事　武田藏之助

今回私は去る昭和四年天六新校舍竣成と同時に專門部主事の重職に就き專門部生徒として常に痛く反省し深く憾念してその本分を忘らないことは勿論學事の研鑽信念の涵養人格の陶冶に只管邁進せられて以つて理想的な明朗學風の實現に協力せられんことを切に希望して止まない次第であります

專門部生徒諸君に於ても此光輝ある本學專門部生徒として常に痛く反省し深く憾念してその本分を忘らないことは勿論學事の研鑽信念の涵養人格の陶冶に只管邁進せられて以つて理想的な明朗學風の實現に協力せられんことを切に希望して止まない次第であります

退任の辭

武田藏之助

不肖私は去る昭和四年天六新校舍竣成と同時に專門部主事の重職に就き專門部生徒として常に痛く反省し深く憾念してその本分を忘らないことは勿論學事の研鑽信念の涵養人格の陶冶に只管邁進せられて以つて理想的な明朗學風の實現に協力せられんことを切に希望して止まない次第であります

肅正隊の 取締事項

並に取締方法

取締事項

一、コンビ靴、下駄履の禁止
二、襟章佩用（學部及一部の襟章佩用禁止）強制
三、僞學生の取締（證章及ボタンの没收）
四、私服の場合校舎内にては草履に履きかへる事

誓約

隊員は自己憲識を捨て修業に努め而して犧牲的精神を養成し一般學生に範を垂るべき行爲と外内面共に風紀刷新を企圖し微力乍ら關大精神文化に貢献せんとす

萬一隊員その體面を汚損したる時は隊の處罰に服す

右誓約す

昭和十二年六月廿日給式日

關西大學風紀肅正隊
隊長以下隊員署名捺印

幹事補選了る

著しい辯論、文藝各部の勢力爭ひ

昭和十二年度幹事會補欠選擧は六月上旬の處幹事長病氣の爲延期し七月一日門上幹事事務代行の許に午後六時半より補欠各クラスに於て執行されたが當日選擧及無投票にて當選した幹事は次の如くである

法三　副田　嚴
同　石幸末太郎
英二　重松帯
法一　簡井寄義
同　横山治郎
經一　同　吉岡正之
商一　西村義治
徒岡藤四郎
同　河副一雄
國一　成
英一　南不二夫

母校の内外刷新に 又も強力先輩團結成

去る六月八日天六〝北進〟に於て新につき協議を重ねてゐた各年度代表者二十數名出席の下に強力先輩團「關西大學大成會」を結成し愈々母校内外の刷新充實に乗出すことになつた因に同會の綱領は

一、關西大學建學の主旨を重じ母校内外の隆盛發展に貢献せんことを期す
一、在學生の保護並にその指導に努め併せて母校名譽の對外的顯揚を期す
一、會員相互の親睦を圖り改發に努めその社會的進出並に地位の確保を期す

である。目下會員募集中にて、本月下旬或は遅くとも八月上旬迄には創立總會開催の豫定の由、多數會員の申込を要望すと

正式決定した 應援團機構

去る第十三回幹事會に於て承認された正式應援團の機構は左の如くである

相談役　法三　牧野隆
〃　門上敏夫
〃　國二　富塚豐
〃　商三　鮫江城夫
〃　經三　田岡隆
總監　法三　栗田義典
團長　商二　温品正雄
リーダー長　商二　清水忠男
〃　リーダー　經二　浦野淳
〃　商二　石本勁
〃　横南志郎
〃　巽政治郎
〃　鹽谷良雄
〃　宇田貴治
〃　村上順
〃　松村一郎
〃　土永彰
〃　藤原隆雄
〃　經三　中山一義
〃　法二　辻孝義
〃　國一　吉田勝美
〃　經三　國久正志
〃　大岡一夫
〃　南館次郎
〃　矢崎守也
〃　松井正男
〃　商一　河副一雄
〃　中塚健治
〃　商二　山田孝一
〃　法二　中村定二
〃　徐廷學
〃　特別團員　野本信一
〃　經二　山根亞
團員　各學友會生徒

經友會發會式

二部經濟科〃經友會〃は今夕午後八時より第三十六教室にて發會式を擧行す

相談役
學友會幹事長　牧野隆
天六學友會委員長　富永貶夫
學友會辯論部長　門上敏夫
學友會文藝部長　鮫江城夫
學友會共濟部長　田岡隆
學友會新聞部長　富塚豐
天六學友會副委員長　森宗信一
學友會運動部長　栗田義典
隊長　栗田義典
副隊長　田岡隆
隊員
第一班　難上順之助　樗木尙典　西澤馨　松井正雄　徐廷學
第二班　前田光一　城下正行　德田謙吉　梶谷良彦　大谷翌
第三班　時水保雄　藤田福太郎　副田嚴　星野進　北里宋二
第四班　佐野富雄　谷口吉春　宮里正典　唐川次夫　藤田武雄　湯浦野淳　清水忠男　原正雄　梶谷良彦　大谷翌
書記　第五班

宣傳係

大谷翌
副田嚴
唐川次夫

庶務係

藤田武雄
清水忠男

夏期休暇は去る二日當局より左の如く發表された

七月十一日より九月十二日迄

取締方法

一、一ケ月一回以上校内にて服装檢査を行ふ
二、校外に於ては各班適宜巡回す
三、僞學生を發見したときは場合に依りては警察の後助を求むること
四、隊員の矯正忠告に應ぜざる學生に對しては隊長を通じて學校當局に適當なる處分方を申請す
五、制服制帽の變形を禁ず
六、學生の本分に反する場所の出入及行爲を禁ず

取締方法

風紀肅正隊 「新撰組」成る

幹事會承認

風紀肅正隊員の氏名は結成後幹事會を經て正式に發表された、尙一部合同の氏名を茲に掲載することにする

顧問
小林中佐
古川敬授
和田敬授
可野主事

懸賞論文募集

不滅の榮光萬古に輝く

お、！燦たり學長賞

學長賞

學園最高賞として新聞部に與へられた特權〃學長賞〃は既報の如く學長先生の御理解ある精神により御寄贈に預り、廣く一般學友から論文を募集することゝなつた、此賞は實に千歳の世までも、永劫に輝く名譽の榮冠であり、子々孫々に於ける祖先崇拜の對象物として、珍重なる家寶である、後世に殘して曠古の記念品であると共に傳統を誇る學友會史上に更に學園の歴史に揭ぐべき壯擧である、第一回を大々的に募集することになつた、振つて應募されよ！

一、大學論
私學教育を通じて觀たる創造的な本質的使命等に論點を置くこと及具體的提案より抽象的な提案に重點を置くこと

二、現代青年論
現代青年を科學的見地からその他凡ゆる角度から見た青年論を、青年は國家の將來を運命づける重要なる存在である、近來青年論は八論しく論議される折柄、好適な題材である

一、規定
A枚數　一五〇字詰　二〇〇枚前後（三千字前後）
B締切　八月十日
C送附先　神戸市灘合區熊内橋通三丁目二六　富塚豐宛
D應募原稿には姓名を認めず別紙一枚を添付しこれに左記要項を認むること
（1）科別、學年
（2）住所
（3）氏名
氏名は明瞭に記名を用ひざること
應募資格　關西大學々友會員に限る

一、審査員（本學教授順序不同）
森古川武
矢口川太孝次郎郎
中村川庸太郎
中村良之助

一、審査方法
慎正を期する意味に於いて無記名のまゝ番號を以つて審査員へ廻送す

一、表彰方法
天位　學長賞　銀牌　一名
地位　學長賞　ブロンズ牌　二名
人位　學長賞　銅牌　二名
但し應募作品中右に該當すべき作品なき時は取消しすることあるべし

關西大學學友會新聞部

論說

僞裝せる青年

一

「青年は嘘を吐く」といふ老人の言葉に對してムキになつて怒る べきかどうかは知らないが、河合榮治郎氏が「主義思想」といふ項目を擧げて書いて田せと云ふと、思想の所に「無」とある、嘘を吐くのが上手になつたと言つてゐるが事實主義思想を持つてゐながらそれをあからさまに發表する純眞さを失つた學生の多いことも否めないことであるが、又一方無意志、無思想の學生、只在るがまゝに生き、學校を卒業したら何となるだらう、就職して着しも月給があがつたら結婚して、と言つた具合に單なる生理的な生存に甘んじてゐる青年がゐないと誰が斷言し得よう。我々の周圍には現實にさうした何等の定見もなくフラ〳〵と生きてゐる哀れな青年がゐる筈だ

二

「次代を造るために」の座談會の小泉丹氏の言葉を借りるならば「嘘を吐く事が上手になる筈で、嘘を吐く事を敎へて居る。大學の入學試驗の口頭試驗の受け方と云ふものを大學の學生新聞に書いてある。其は次のやうである。貴君は何雜誌を讀んで居るかと訊かれた時に、多く讀んで居ると云つてもいけない。丁度よい所を答へなければならぬ。答へる雜誌のコンビネーションを研究して置かなければいけない。中央公論と言つたならばキングも讀んで居ると云ふやうに答へなければいけない。中央公論一つ、キング一つを云つてはいけないといふ風に書いてあつたそれが其の大學の學生新聞だからあきれたことではありませんかね」といふのである。これが何處の大學かは不明であるが、これが現代の學生の僞裝的自己表現であるといふ事實は悲しいことだ

三

さる就職座談會の席上で職業紹介所の人が讀書の傾向について慨嘆してをられたが、すべてがこういふ具合な要領の良い答へであるならば、およそあてにならぬその統計を見て慨嘆するのは早計であらう、とまれ修業書ならずとも、キングでも奥の奥でもいゝ、自分のほんたうに讀んだ書物を正直に言へる人間があるならば、修業書を讀まずとも良いのだが、自己欺瞞を苦にしないやうな學生は何がために學校に來てゐるのか解らない敎養といふも、人格の陶冶といふも、一切は眞の人間の姿に於て完全である筈だ、矛盾とはさうした學生自身の足痕ではないか、そんな盲目同然の人間に今日の風向きが解らう筈がない、況して明日の雲行きは。赤裸々な人間性純粹性こそ次代を造る青年に不可缺のものである

四

「大學は學問をやるところで總ての大學はそれが第一義である——その他のいろ〳〵の事は第二義的なものである云々」といふのが某大學の總長が就任に際して の抱負の辯であるから呆れるではないか學問のための學問、それは勿論結構である、しかし幾分抽象化された言葉であるが大學の本來の目的使命はもう少し理想的である筈だ、人格の陶冶といふやうな問題は實際は成程どの程度に果されてゐるかは疑問であるが、尠くとも同一線上に據らるべきである自己完成とは學問によつてのみ得らるゝものではない、又人格陶冶とは人間をミイラ化することでもなく、偏僻化することでもない、なまの肉體に正確な呼吸を律動を與へ（生きた學問を修得せしめることであらねばならぬ）

夏期休暇を目睫に控え
多事多端な第十三回幹事會
幹事長代行の門上君蹶起す
種々の問題を提げて突貫線へ

第十三回幹事會は六月廿四日午後七時廿五分より幹事會事務局に於いて開催、牧野幹事長病氣につき門上幹事之が代行をなし、議長の席につく、先づ第一議案幹事補缺選擧に關する件に入る、日取は七月一日と決定し選擧長の推薦方を諮る、異議なし、こゝに於いて、議長は總務クラスを讀み上げて後ち各人員の配當を行つた

選擧執行委員長　牧野　隆
法　一　門上敏夫幹事　田岡　隆幹事
經　一　鮏江城夫幹事　富塚　豐幹事
文　一　梶谷良彦幹事　大谷　瑛幹事
英　一　茂田　武雄幹事　栗田義典幹事
國　二　時水　保雄　城下　正行
法　三　栗田義典幹事　浦野　淳

以上の推薦は異議なく承認通過したので次の議案大學經營執行に關する件に入り、先づ役員の推薦方議長一任方を幹事會に諮ればこれも異議なく承認、門上議長は直ちに大學祭の役員を發表

總　務　牧野　隆
運動競技係　栗田　義典
宣傳印刷係　稻田　悦治
講演會係　大谷　弼
展覽會係　唐川　炎夫
音樂演劇係　鮏江　城夫
風俗行列係　日俣　正三
接待係　門上　敏夫
衛生係　田岡　隆
新聞係　富塚　豐
賣店係　前田　正一
設備係　梶谷　良彦
連絡係　茂田　武雄
式典分列係　時水　保雄
馬術係　城下　正行
會場整理係　浦野　淳

次いで第三議案追加豫算請求に關する件に入り、當問題を詳細に亘つて議長より報告、クラス會費もこれによつて充當されることになる模樣であるこゝに於いて經三平澤君より提出されたる補助金支出願書を議長朗讀終つて前々幹事會に於いてクラス會調査委員長として推薦された神谷宛君、病氣の風俗行列係の神谷君の代理として、第二十三條を適用することゝなり神谷君は正式に辭職したことになる、次いで風紀肅正隊と栗田幹事の隊規の朗讀に說明を加へ、結成式の結束事情を具に發表して後承認方を諮る、次で神谷君の辭職願、第二十三條を適用することゝなり神谷君は當年度幹部之を推薦す」の條文に就き大谷榮名兩幹事より强硬な質問あり、種々議論交はる、論點は五條を追加して承認された、次いで前田幹事より栗田君を隊長として最適任者である旨を述べ推薦すれば、直に決定、栗田君の挨拶に續いて隊員二十二名の承認を終了、時に午後九時半、引續き議事續行され、應援團二十七名の承認方諮れあり、可決、最後に神谷君の辭職によりクラス調査委員長の後任を選定し、議長より前田幹事を推薦すれば異議なく可決決定し午後十時十五分終了した

風紀肅正隊規要綱細則成る

隊員之を任命す
三、本隊は之を二隊に分ち一部を第一隊二部を第二隊とす
四、本隊に左の役員を置く
顧　問　若干名（但學校教職員）
相談役　若干名（但天六學友會委員長副委員長及關西大學學友會幹事長各部長）
隊　長　各一名
副隊長　各一名
隊　員　若干名
第四　隊員任免
隊員の任免は隊長適當に之を行ふ
第五　本隊の禁止事項及取締方法
本隊の禁止事項及取締方法は各隊に於て適當之を定む
第六　隊員は所定の隊員章を佩用す
第七　本隊の會合は隊長之を指示す
第八　次年度隊長副隊長は當年度幹部之を推選す
第九　本隊の財政は各學友會より支給せらるゝ金額及一般寄附よりなる
第十　隊則變更の必要ある場合隊長副隊長相談役協議決定す

第一　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第二　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第三　隊員は學生の風紀紊亂を矯正忠告する外學生を抑壓補導し校風の刷新を企圖するを以て目的とす
第三　隊の組織
一、本隊は關西大學專門部一部二部生徒を以て組織す
二、隊員は模範的學生を嚴選し本部を關西大學天六學舍內に置く
第二　目的
本隊は學內は勿論學外に於ける一般學生の風紀紊亂を矯正忠告する外學生を抑壓補導し校風の刷新を企圖するを以て目的とす
第三　隊の組織
一、本隊は關西大學專門部一部二部生徒を以て組織す
二、隊員は模範的學生を嚴選し本部を關西大學天六學舍內に置く
第四　名稱及本部
本隊は關西大學風紀肅正隊と稱する。
關西大學風紀肅正隊
隊規要綱
第一　名稱及本部
本隊は關西大學風紀肅正隊と稱された、風紀肅正隊要綱並に細則は嚴しくるはせを生じ二十四日の幹事會に提出議されたが結成式當日發表された要綱並に細則に關し特に二部の特殊性に鑑み附則三、四項を加へて異議なく承認された、次の如くである

第三　隊員の任免
隊員の任免は隊長適當に之を行ふ
第五　本隊の禁止事項及取締方法
本隊の禁止事項及取締方法は各隊に於て適當之を定む
第六　隊員は所定の隊員章を佩用す
第七　本隊の會合は隊長之を指示す
第八　次年度隊長副隊長は當年度幹部之を推選す
第九　本隊の財政は各學友會より支給せらるゝ金額及一般寄附より成る
第十　隊則變更の必要ある場合隊長副隊長相談役協議決定す

第一　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第二　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第三　隊員は學生の風紀紊亂を矯正忠告する外學生を抑壓補導し校風の刷新を企圖するを以て目的とす
第四　隊員の任免
隊員の任免は隊長適當に之を行ふ
第五　本隊の禁止事項及取締方法
本隊の禁止事項及取締方法は各隊に於て適當之を定む
第六　隊員は所定の隊員章を佩用す
第七　本隊の會合は隊長之を指示す
第八　次年度隊長副隊長は當年度幹部之を推選す
第九　本隊の財政は各學友會より支給せらるゝ金額及一般寄附より成る
第十　隊則變更の必要ある場合隊長副隊長相談役協議決定す

第一　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第二　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第三　隊員は學生の風紀紊亂を矯正忠告する外學生を抑壓補導し校風の刷新を企圖するを以て目的とす
第四　隊員の任免
隊員の任免は隊長適當に之を行ふ
第五　本隊の禁止事項及取締方法
本隊の禁止事項及取締方法は各隊に於て適當之を定む
第六　隊員は所定の隊員章を佩用す
第七　本隊の會合は隊長之を指示す
第八　次年度隊長副隊長は當年度幹部之を推選す
第九　本隊の財政は各學友會より支給せらるゝ金額及一般寄附より成る
第十　隊則變更の必要ある場合隊長副隊長相談役協議決定す

第一　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第二　本細則は關西大學風紀肅正隊細則
第三　隊員は學生の風紀紊亂を矯正忠告する外學生を抑壓補導し校風の刷新を企圖するを以て目的とす
第四　隊員の任免
隊員の任免は隊長適當に之を行ふ
第五　本隊の禁止事項及取締方法
本隊の禁止事項及取締方法は各隊に於て適當之を定む
第六　隊員は所定の隊員章を佩用す
第七　本隊の會合は隊長之を指示す
第八　次年度隊長副隊長は當年度幹部之を推選す
第九　本隊の財政は各學友會より支給せらるゝ金額及一般寄附より成る
第十　隊則變更の必要ある場合隊長副隊長相談役協議決定す

當局の消極的態度は求職者に惡影響
學校經營者の反省と校友團の連絡渴望

二共濟部の就職座談會が開催され、その產物としてこゝに學校經營者の積極的態度並に校友團の緊密なる連絡を要望する聲が高まつて來たことは事實である。この問題は少くとも一部學徒に留まらずオール關大の求職希望者に與ふる大きな衝動であることは拒み得ないことである

先般共濟部主催第三回就職座談會が開催され、一般學生の職業に資すべき問題が論議されてゐるが、一方實際その效果がどの程度に顯はれてゐるかは問題視されてゐる、然し本問題は單に共濟部の責ではなくしてその一端は學校當局がこれに任じなければならない、所謂學友會は自治制下にあつてこれらの問題とは成るべく干渉の必要もなく、積極的に動かうとする無能さへ見ない狀態にある、共濟部で主に取扱はれてゐる主なる就職問題は單に在學中を求職しようとするもののみに多い樣であつて、卒業後確固たる足取を續けようとするものには あまり効果がない樣に見受ける、こうした現象を呈する原因となるもの〻一般に注目されてゐる點は學校の積極的行動に缺けてゐることである

先般共濟部主催第三回就職座談會に參加した學生の意見を聞くに、學校經營者の積極的態度並に校友團の緊密なる連絡を要望する聲が高まつて來たことは事實である。この問題は少くとも一部學徒に留まらずオール關大の求職希望者に與ふる大きな衝動であることは拒み得ないことである

一、學校經營者の他産業界方面に關係なきこと
それに伴ひ實業界進出不可能を僅微なりとされてゐること
二、校友團の連絡緊密なる社絕にて現校友會の存在價値は地に落ちたこと
師も先輩の實業界進出者から在校生が何等使宜を受くる能はざること等でこれが打開策を考究せねばならぬ拔本的問題については全く等閑視して居り、學友會は相當これに對し將來の決意を持つてゐる模樣である

先づ掲げた二項の問題に關し稱賛に値する決議を爲した、學友會は相當これに對し將來の決意を持つてゐる模樣である

先づ掲げた二項の問題に關し稱賛に値する決議を爲した、學友會は相當これに對し將來の決意を持つてゐる模樣である

先般來一部新聞紙上に於いて問題化されてゐる校友有志大會は最近某方面の最も有力な手がゝりによつて、その全貌は明かにされたのである、有志大會の端緒は五月十六日本學辯論大會開催當日數名の先輩によつて發議され、五月二十七日第一回校友有志協議會を開催し準備委員會を設立、六月三日さらに天六北通に會合し、六月八日愈々具體的方策を協議の上同月十二日北區某所に會合、前後既に四回の準備委員會を開催し萬遺漏なきを期して愈々六月十三日有志大會を中之島中央公會堂に於て開催、當日本有志大會の趣旨並に宣言を發表した

我等は校友會の本質に立脚し、その使命遂行の目的の下に全校友諸兄の支持を得て母校關西大學五十數年の歷史に鑑み茲に校友會の革新と學園充實の爲に奮起するものにして眞摯公正にして私的行動に非ず

右宣言す

六月八日

關西大學校友有志大會
準備委員會

次いで校友會館建設の實行委員會を選任、校友會基金の明示、會館建設を當局に迫るべく決議し、直ちに六月十五日第一回實行委員會を開催、次いで數回に亘つて實行委員會を開き協議を重ねた結果、七月一日愈々左記要求書並に決議文理由書を校友會長宛手交した、一般新聞紙上によれば尙事態によつては八月末乃至は九月初めには相當重大化するものと見られてゐる

要求書

昭和十二年六月十三日大阪市中之島中央公會堂に於て開催せる關西大學校友有志大會の決議に基き左の事項を要求す

一、校友會館建設に即時着手すべし

右要求に對する回答は向ふ一週間以內にされたし

昭和十二年七月一日

關西大學校友有志大會
實行委員長及實行委員
連名

決議

校友會館建設に關する決議

校友會館建設の要求は校友會の社會的存在理由に立脚するものなり、その存在理由は會則第一條に明示せる如く第一會員相互の親睦を圖り名譽の維持に務め第二に學生の保護に任じ併せて母校關西大學の盛運發展に貢獻するに在る而して之等の目的を達成するには校友會それ自身が自主的活動的なる機能を有するものならざるべからず茲に於て我等はこの目的達成のため校友多年の宿望たる校友會館の即時建設の必要を認むるものなり

右決議す

理由

母校關西大學は今五十年の歷史を迎ふ其私學に於ける半世の歲月は正に學園內外興隆の表徵の時なりと確信す我等校友一同は校運の隆盛を祝するに吝さかならざるも顧みて東都諸大學並に地元諸大學の躍進、社會的進出の現象を見る時憤慨之久しうするの現狀にあるを痛感す顧みて會員一萬を擁する我が校友會は會館一つをも有せずその存在意義は全く忘却され隨つて又會則第六條「本會は本學の事業を助ける爲其諸間に應へ又は建議を爲す」は全く空文化せる現狀なり茲に於て我等は默する能はず蹶起して現狀を打破し校友會の刷新を期するものなり

昭和十二年六月十三日

關西大學校友有志大會

校友會革新を期し
有志大會開催さる
校友會館即時建設を決議

大である

これ等の手引なくして職に學園の卒業者に多多、實業界進出就職しなることは全く困難である、假に新進學府に於いてこれを樹するに第二校友團の連絡については各大學とも相當緊密の度を示してゐることは事實であろう、この先輩たる校友の連絡は後輩たる卒業者に與ふる便宜も亦實に計り知れぬ

これ等の手引なくして職に學園の卒業者に多多、實業界進出就職しなることは全く困難である、假に新進學府に於いてこれを樹するに第二校友團の連絡については各大學とも相當緊密の度を示してゐることは事實であろう、この先輩たる校友の連絡は後輩たる卒業者に與ふる便宜も亦實に計り知れぬ

何人たるをさへ全く知らぬ狀態であり、年に一度か二度の總會も極小部分の人々によつて行はれ一般校友には窺內狀態一本さへ屆かぬ狀態であり、これを以て校友團の連絡が如何にして計られるか全く知る者をして慨嘆の眼を開かせてゐるこうした事柄に新進學府に認識される本學の實業界進出即ち就職に多大の影響を及ぼしてゐることを認識することが必要である

就職座談會は何を學徒に物語つたか？

共濟部主催の就職座談會は六月十五日午後六時より日本橋北詰プラジル會館に於て開かれたが先づ田邊共濟部主事の挨拶あり天六職業紹介所長今井氏をはじめ同所給料生活者部主任武智氏、中央職業紹介所の田中、普堂氏の極めて詳細な報告を終れた挨拶のち天王寺職業紹介所々長村川氏の就職の虎の卷といふものは結局自己完成のほかはない、學校の成績が先づ第一に重要で、それと同時に品性といふことも大切だ、洋服を着て下駄を履いたり殊更に髮を長くしたりするのは學生自身にとつては勉强的なことかもしれないが謂はゞ社會の約束を破つてゐるやうなもので、これらの學生は自己の品性の劣惡を表示してゐるわけである から就職の人物試驗を受けに行くときは十分氣をつけて普通の人の眼をもつてゐる事は社交上からも必要なことでせう」

古川「では運動については」

村川「これも今はつきりと申上げられませんが一般的に言つて就職については都合がよいかと思ひます、スポーツは又趣味とも關連して來ます、私の趣味の統計によりますとスポーツといふのが澤山ありました」

古川「夜間學生の趣味といふ點について御伺ひします」

村川「夜學生の中には趣味は讀書といふのが非常に多いのですが先日あまり感心しないのがありました、趣味は囲碁庶圍りといふのがね」

普堂「通學中は時間的にもいろいろ餘裕がないのですから現在趣味を持つてゐない人は改めて求める必要もないでせう」

古川「では趣味が缺けてゐるために特に就職上失敗する樣なことはないでせうか」

普堂「二部學生は一般に社會の認識が深いから特に趣味の欠缺が問題にする必要はないと思ふ」

田中「職業に關連する求人は殆ど圖案には繪の上手な人、文章の上手な人は雜誌方面に向くといふのがいゝのでせう」

古川「スポーツに就てはどうでせう」

村川「求人側はどんなスポーツをやつた人が良いといふことはないが只スポーツをやつた人は氣分が明かで良いといふことで就職の條件としては良い部類に屬してゐます」

普堂「健康といふ點からもスポーツは良いと思ひます」

古川「新聞記者のお方は趣味といふ方面についてはどんな御意見をお持ちでせうか」

阪田（大毎）「新聞記者は趣味は大いに持つて良い、映畫も一通り鑑賞出來、スポーツにも或程度の理解力を養つておく事は記者としての才能を伸す上に非常に役立つでせう」

士橋（夕刊大阪）「趣味は廣く淺くても、狹く深くても良いがとにかく持つて欲しい」

村川「現代の青年は一般に低級な雜誌を讀む傾向がある、たとへば「臭の臭」などを讀んでゐるものがかなりあるがどうかと思ひます」

古川「最近お取扱の就職狀況についてお聞かせ願ひたいと思ひます」

武智「夜學に通ひ乍ら就職した人は極めて少ないやうです、やはり身體的にも時間的にも獨立して夜學に通ひ乍ら就職した人は極めて少ないやうです、やはり身體的にも時間的にも獨立して難い學業を持つといふことは求人側としては考しくないので夜學生は敬遠されがちです」

古川「求人側はどんな人を求めるのですか」

武智「年少者で健康な明るい感じのする眞面目な人といふのが一般の樣です、で學業の成績は第二の問題といふことになり、安い給料で働く人が歡迎されてゐます」

古川「就職後通學して卒業した場合一般の卒業生と同樣の待遇をしてゐますか、つまり卒業して就職するものと同等に昇給しますか」

村川「大部分がさういふ樣に改まつてゐると思ひます」

田岡「同一勤務先に居る場合は自分が學校へ行かせてやつたのだから卒業したからとて特に他の卒業者と同樣に取扱ふ必要はないといふのが實情ではありませんか」

古川「特に夜學生が實力はあり乍ら認められないといふのは現在の制度に缺陷があるのですからよろしく資格試驗といつた制度を設けるべきでありますが、それにつき紹介所の方々に特別の御盡力をお願ひしたいのであります」

富塚「その人の點數によつて適當な職業をお聞かせ願ひたいのですが」

村川「骨相の方ではそんなのがありますが、今のところそんなことを信じ氣にする必要はないでせう」

平尾前共濟部長及牧野教事長、門上幹事長、大谷同副部長の夜間學徒の立場について熱心な說明あり二部學生の特殊性を十分認識せしめて、十時半盛會裡に終了した

共濟部主催

白黑

短歌雜誌　青樫　第二卷第七號　定價廿五錢　會員費卅錢

女性と時代……遠山　英子
作品　秋田背雨　小寺政太郎　滝井　一　山口羊丘　未宗　卯　今井寛美子　日下部實　木船正雄……木船　正雄
雜言一束……木船　正雄
前月作品合評……日下部實　木船正雄　小寺政太郎　秋田背雨
山田兵一氏の個展を觀る……秋田　背雨
他誌評見……水野　榮一
作品　遠山英子　田中美寡男　明美菲子　白石さと子　鳴戸　潮　山下治子　御影秋子　水野榮二……御影秋子
○新人のよき發表機關誌○會員募集（書號見本切手十五錢）
青樫社　大阪市天王寺區櫻ノ二八　振替大阪一九五〇三番

クラス會座談會
その他の御集會に
安くて感じのいい
食堂ビル　味に輝く　北極星
南區戎橋筋停車場前　電話戎五八三七番
レストラン　新味覺　北進
北區天六京阪前　電話堀川二四九八番

新新なる意匠！優秀なる技術！
メダル　徽章　トロフヰー
寶弘堂
大阪市南區北炭屋町七　電話南六一四〇番　振替大阪九二〇二一番

若人の服專門
學生服　背廣オーバ
河合洋服店
一日本橋一丁目交叉點
電話南三三八一番

名物バンパン料理
パンと洋菓子　明るい喫茶
神戸屋パン
天六サービス
天六京阪南へ半丁

傳統と歴史を誇る辯の桃源境開く

中ノ島中央公會堂に深夜を吼する言論の闘士

第二十三回 全國大學高專辯論大會

六月十三日、氣運はれた天候も心地よく晴れ渡り、會場中ノ島中央公會堂の表入口には日章旗圖繪としてひるがへる今や準備萬端全く整ひ時正に十二時三十分、豫科三組君の開會の辭をもつて、歴史と傳統を誇る三部合同主催第二十三回全國大學高專辯論大會の幕は切つて落された

未來の外交官政治家たらんとねがふ心臓の強い連中各々自己の專門的立場より社會を凡ゆる方面から斬り下げ、斬り捲ぎ鋭きメスを揮ふ、滿堂の聽衆も舞台に釘し猛烈な獅子をとばし、辯士も或は挑戰し、或は封じて論じ來り論じ去る春名君も大いに奮戰、論議なく本學友會辯論部のために面目を保つ舞臺裏を覗いて見ると大谷君、進行係の大任を負はされ汗をかきかき廻りに辯士の繰やりに頭を捻る、部員一致協力、門上部長の指揮に從ひ、三部よく連絡し、統制振を發揮再び會場を見ると聽衆はギツシリ詰り目の色を變へて傾聽し辯士も必死になつて獅子吼す、頻りに凄然たる獅子も飛び出に痛快、聽て學一高松君の開會の辭を以て幾の部を盛會裡に閉じ、直ちに記念撮影し晩餐會に移つた

午後六時副田君の開會の辭を以て夜の部は展開され、冒頭より獅子も飛び拍手喝采裡に降壇すれば次に若獅子君登壇し「昭和維新の危機と題し論じまらんとする時、突如會場の一隅より「ブツ斬ルゾ!!」と叫ぶものあり、聽衆面喰つて目をパチクリ、次に現れたるは高野山大學の坊主風内君、其の他續々と他校の優秀な辯士現れ論じ來り、而して去る、聽て關西學生辯論聯盟のメッセージ朗讀も濟み、大會の最高潮に達せんとする時、のつこり現れたるは坊主頭の大鉄鎚、辯論部長門上君、彼の心臓の強い所を見せ、諸君より今より迎べんとすること此門上一個人の辯ではなく一國の宰相門上の演説であるとして聽いて貰ひ度い等と相當厚法螺を吹いて御得意の全體主義の説明に移り、その巧みな論述に聽衆は全くチャームされ、盛んに拍手を送る、中之島の夜は更けの都會の騒音も顧つたのに、此處會場は今や最高潮に達し、本學教授辯論部指導教授柴川太郎氏の挨拶の後、數都おいて現れた大谷副部長の大きな扇、而も悠然たる口調で切り出したので聽衆も呆氣にとられて彼が口に禍機を一奪に注ぐ、次第に熱昂し、核心に近づかんとすれば二階からも右顧からも左顧からも捲り獅子が飛べば必死になつて破烈な獅子を飛ばす相も變らず熱心に傾聽し、時に赤辯士も口角泡を飛ばして挑戰する學一高松君軍部を攻撃すれば一老人が突立つて「軍人は命を捨てゝ働いてゐる」と叫んだり、血氣盛んの挨拶を以て、正に本大會のヒツトである、會場の夜は次第に更けて行くが聽衆は少しも減らず、氣にとられて彼が口に禍機を一奪に注ぐ、次第に熱昂し、時に赤相も變らず熱心に傾聽し、時に赤必死になつて破烈な獅子を飛ばす近づかんとすれば二階からも右顧からも左顧からも捲り獅子が飛べば大谷君巧みに切り捲け、或は答へて誘々として說き開かせ、グンく抑へて行く、正に本大會のヒツトである、會場の夜は次第に更けて行くが聽衆は少しも減らず、相も變らず熱心に傾聽し、時に赤必死になつて破烈な獅子を飛ばす學一高松君軍部を攻撃すれば一老人が突立つて「軍人は命を捨てゝ働いてゐる」と叫んだり、血氣盛りの青年が「馬鹿」「馬鹿」を連呼し「辯士に降壇」を叫ぶ、會場賞に騒然たり、やがて十時三十二分學部の中野宗弘君の閉會の辭を以てこの傳統を誇る第二十三回全國大會は無事盛會裡に閉會、學生一同壇上に集まり萬歲を三唱、校歌を合唱して散會した

金城鐵壁搖がず

堂々制覇の劍道

益々士氣を鼓舞す

無敵劍道部は堂々三十有餘名から成る部員一丸となつて燃ゆる情熱の下に高專の猛者達と鉾を交へて關大二部の特殊性を發揮し、熱意を認め、吾が部の内容を鮮明にし以て最高理想たる大阪學生劍道聯盟加入問題を摂津男兒に訴へたのである

六月六日西に落陽の影かすかに漂ひ、此處河内平原には燦るが如き夕靄の靜かに戰翼を擴げ始めた、午後七時蒼然たる樹林の彼方渺茫として開けたる丘陵を踏んで吾等を迎へて立つ白堊の殿堂こそ先づ自移の矢を立てられた醫科醫專である試合は醫科醫專のマネージャー蜂谷君の指導に依つて開始され深々と更け渡る道場で唯敵味方の氣合、掛聲、竹刀の音、息づまる様な接戰と熱烈の叱咤の中に進行して行つたが同夜の成績は次の如く成功裏に終了した

醫科醫專
本校
先鋒○横山　山崎
○島山　今高
○○山口　上田
○○竹本　三井
○○塩谷　内井
○徐　○菊山
○樽木　○林
○松井　○岡田
副將○岡尾　西
主將○澤　大西
上　後藤
高岡

積いて翌六月七日午前九時一同は前日の疲勞をものともせず、餘力を驅つて大高に向つた、當日は早朝より梅雨滲々と降り注いで歐鬱の氣天地を被ひ居たるもたゝ選手の緊張を增すのみにて金城鐵壁ビクとも搖がず、先ず吾が先鋒山本君は名先鋒の名に恥ぢず悠々六人目遂に勇退してより暫く辯觀の後副將岡尾君が見事に二名を打ち取り、最後の勝名乘りを上げたのである

先鋒○大高　○○橋本
○○伊藤　○○有田
○○福井　○○瀬戸
○○村田　○○牧野
高神　岡崎
遊上

本校
先鋒○橋本　○○西尾
○○角田　○○山口
○○瀬村　○○竹内
○○樽木　○○松井
○徐　○○菊山
○○塩谷　○○上田
副將○岡尾　○○三井
主將○澤　○○内藤
上　○○高岡

藝術の聖火消ゆ

豪華第七回文藝祭

觀衆滿足裡に了る

絢爛豪華と謳はれる關大文藝部主催第七回文藝祭は去る六月六日朝自會館に於て擧行、オール大阪市民をして藝術の陶醉境に彷徨せしめ大喝采裡に終了した、先づ委員長日保君の開會に火蓋は切られ音樂部コーラス・バンドに依る關歌、學生歌の合唱續いて西大學學歌、學生歌の合唱續いてハーモニカ・ソナエテイ佐藤宗斗指揮の許に合奏、名曲々未完成交響曲々外數曲を吹奏、靜寂そのもの、内に終り愈々學長神戸正雄博士の挨拶、續いて畜樂部佐藤宗斗のマイナー・ハーモニカ獨奏も拍手裡に終れば、文藝祭執行の挨拶を述べ關歌の詠りとして、演劇部演出の〃秋の燈〃次いで尾上門下生による舞踊、勤進帳その他、これに詩吟、謡曲宮孔明、本能寺その他二三の吟詩、再び演劇部の〃海の勇者〃は平素の練習振を遺憾なく發揮し次いで關大タンゴ・アンサンブルに依るジャズ演奏、中でも〃青士の挨拶、續いて畜樂部佐藤宗斗のマイナー・ハーモニカ獨奏も拍手裡に終れば、文藝部長鮫江城夫登壇、本文藝祭執行の挨拶を述べ關歌の詠りとして、演劇部演出の〃秋の燈〃次いで尾上門下生による舞踊、勤進帳その他、これに詩吟、謡曲宮孔明、本能寺その他二三の吟詩、再び演劇部の〃海の勇者〃は平素の練習振を遺憾なく發揮し次いで關大タンゴ・アンサンブルに依るジャズ演奏、中でも〃青ダム自身がいふ目的の奈邊にありやを考へて「淺まし考へを持つもの哉」と嘲笑せざるをえん

▲最近張り切りの柔道部、關西學生柔道聯盟戰に優勝して益々張り切つてゐる。殊に柔道部に籍置く栗田君、暴高々に「おいどんたもんや」正門には優勝旗が飾られ彼等不敗勢力の結晶として立つられた

▲週日の第七回文藝祭に於てプログラムも大部過んだ時「只今戦

双眼鏡

▲關大の一學生氏ナンパに近づいたので降りる可く財布探せば更なし、顔色蒼然として見るも氣の毒な樣子、見覚れた三十五六歳の男「私も關大にお世話になつてゐる男ですが借越ですがどうぞ」と十義俠男、開けば食堂のオヤヂ

▲正門前の某洋服店の金看板

のマダム、無邪氣をあげて「學部、專門部一、二部合體の新聞を發行するのが理想的でせう。」と仰言る、成程それは結構な事ではあるが然し實際に於いて行へるか否か？何が理想的なのか？勿論各方面からそうした言葉を聞くが、云ふ人によつて皆その目的を異にする如何に洋服屋のマダムでインテリ顔して云ふても今更聞く丈やボトル達だつて云ふても知つてゐる、先づマ

活躍する陸上競技部

本年度小谷義雄、赤井春太郎兩君を迎へた關上競技部では各競技に手を拡げ四方八方に躍進又躍進を重ね意氣益々冴ゆ年々二部の奮ひ猛然と獅子の如く怒息荒く全關西否又全日本を網羅し極東方面迄知られようと破竹の勢ひをもつて邁進しつゝある、五月に遂入つて廿九、世間日甲子園南運動場に於て關西學生陸上競技聯盟主催第十七回關西學生陸上競技選抗選手權大會が開かれた其成績は左の如くである

砲丸投第四位11米35　小谷義雄
走高跳第一位1米85　小谷義雄
千五百米第二位4分33秒2　赤井春太郎
一萬米第六位36分3秒　赤井春太郎

六月六日西日本選手權陸上競技大會、於岡山市西大寺

千五百米第四位　赤井春太郎
一萬米　第三位　赤井春太郎

大阪學生柔道聯盟戰に優勝した柔道部

浪速高校道場で

六月十三日、大阪學生柔道聯盟戰が、本學より居野主將以下優秀部員出張、府下石橋の浪速高校の道場に於て午前九時開會、第一戰を昭和高商と鉄戰、續い一戰し正午より第二戰大阪高等醫專と組む、勝に終らんとした時、雷雨の一隅に、一戰に優勝の旗を飾り、午後七時蒼然たる樹林の彼方渺茫として開けたる丘陵を踏んで吾等を迎へて立つ白堊の殿堂こそ先づ自移の矢を立てられた醫科醫專である試合は醫科醫專のマネージャー蜂谷君の指導に依つて開始され深々と更け渡る道場で唯敵味方の氣合、掛聲、竹刀の音、息づまる様な接戰と熱烈の叱咤の中に進行して行つたが同夜の成績は次の如く成功裏に終了した

醫科醫專
本校
先鋒○横山　山崎
○島山　今高
○○山口　上田
○○竹本　三井
○○塩谷　内藤
○徐　○菊山
○樽木　○林
○松井　○岡田
副將○岡尾　西
主將○澤　大西
上　後藤
高岡

シーハウス開く

海嘯しの夏、水上部は愈々おらが夏々とばかりに意氣込んでゐるが先般來目論まれたシーハウスの開設も愈現することゝなり來記要項によつて開設するので折角、學友會の援助を以て、今より「ブツ斬ルゾ!!」と叫ぶものあり、聽衆面喰つて目をパチクリ、次に現れたるは高野山大學の坊主風内君、其の他續々と他校の優秀な辯士現れ論じ來り、而して去る、聽て關西學生辯論聯盟のメッセージ朗讀も濟み、大會の最高潮に達せんとする時、のつこり現れたるは坊主頭の大鉄鎚、辯論部長門上君、彼の心臓の強い所を見せ、諸君より今より迎べんとすること此門上一個人の辯ではなく一國の宰相門上の演説であるとして聽いて貰ひ度い等と相當厚法螺を吹いて御得意の全體主義の説明に移り、その巧みな論述に聽衆は全くチャームされ、盛んに拍手を送る、中之島の夜は更けの都會の騒音も顧つたのに、此處會場は今や最高潮に達し、本學教授辯論部指導教授柴川太郎氏

田前文藝部長より祝電がありましたので上げます」「コンヤノセイカイフシュクス」と、常人舞臺裏の本部でシャーく〳〵と湧まして御座る、インチキも程度ものだ、やるならもつとうまくやれ、彼女に打付ておいしつて文藝部に於て定番組も大分進んだ時、二階正面で大いに騒しろ」に聽衆どつと大笑ひ

友誼者の振つて參加されんことを希望してゐる

一、場所　阪神香櫨園濱
一、道順　阪神香櫨園下車徒歩數丁にして海岸に達す、バスの便あり
一、シーハウスには學友會水上部の旗を掲出してあります

第一回、七月十一日(第二日曜)午前八時—午後五時
第二回、八月一日(第一日曜)午前八時—午後五時
因みに第二回は運動部々員大會の爲特に開放す、當日茶菓果物、飲物等の接待並にボート散策を用意し當日香櫨園濱を關大カラーに塗りつぶしたいと思ふ（雨天の場合は）
(第三回)八月十五日に順延す
第三回　八月十五日(第三日曜)午前八時—午後五時

特殊性を有つ應援團結成式

天六北進で擧行

鬱勃的に延びんとする專門部ラクビー部は去る六月十八日午後七時より中央公會堂地下室大廣間に於て新入部員歓迎會を開催し、飛躍への大きな衝動を與へたのである當日運動部部間西村勝太郎教授あて同部指導部間として中川教授の出席あり、學友會主將者鳴より栗田運動部長、門上辯論部長、富塚新聞部長の出席あり有意義な會合となつた特に門上辯論部長は挨拶に當り〃君等の益々健闘を祈る〃の辭を述べ午後九時散會したが、その席に發表されたスケヂュールは相當の驚嘆を以つており今秋花園に京都に華々しくデビュ（illegible）

應援團はその後内容の充實に勤めた結果、六月十八日天六北進に於いて結成式を擧行、學友會事業部の各部長を招聘して盛大な歓迎會を開催した、午後七時應援團員一同は事業田運動部長の開會の辭について發起人であり團長として就任した溫品君の簡單な挨拶、次いでリーダー長濱本君挨拶を述べ、恰度、千里山、一部の應援團の主將者田所何れもこれが結成の祝辭を述べ、栗田君立つて〃當應援團の相談役として就任された各部長の御挨拶を御願ひします〃と述べれば最長年者である門上君先づ本團結成を祝し、倒せて團歌を述べ終江君、文藝部長らしく〃關大文化に貢献されんことを〃雙つて田所君〃私の意は門上君の言に盡きる只一言御說の言葉を〃述べ雙つて新聞部長、富塚君〃再三申すこと ながら〃と前提して團歌に入り、本團は單に運動部の應援團のみにとゞまらず、よろしく關大文化の發展に奮せよ、それには凡ゆる分野に興味と關心とをもつてこれを援け、學友會發展ひいては全學團の向上の爲に努力されんことを望むと結び、終れば運動部指導顧問西村勝太郎教授の來場あり、早速挨拶に入り〃應援團の必要性とその本質について乃至は前途につき訓辭あり、終つて記念撮影を行ひ後は應援團らしく氣焔をあげ、學歌學生歌の合唱、指手等盛んに當を極し午後十時盛會裡に閉會したなほ應援團の特殊性については先達てから强調されこの本質に於いて他のそれと全然性質を異にするものと云へやう

JO、下加茂など撮影所見學

映畫研究會主催の撮影所見學は多數の申込を受けたが多人數では凡て に支障ありとなし人數を減じて二十數名、氣運はれた雨もからり 日本晴の十三日、豫定の時刻を遲れて九時着京阪天六出發、本團は單に運動部の應援團のみにとゞまらず、よろしく關大文化の發展に奮せよ、それには凡ゆる分野に興味と關心とをもつてこれを援け、學友會發展ひいては全學團の向上の爲に努力されんことを望むと結び、終れば運動部指導顧問西村勝太郎教授の來場あり、早速挨拶に入り〃應援團の必要性とその本質について乃至は前途につき訓辭あり、終つて記念撮影を行ひ後は應援團らしく氣焔をあげ、學歌學生歌の合唱、指手等盛んに當を極し午後十時盛會裡に閉會したなほ應援團の特殊性については先達てから强調されこの本質に於いて他のそれと全然性質を異にするものと云へやう

ラクビー部の新入部員歓迎會

覇氣ある宣誓書

渡滿に先立ち富山・長野へ遊說

辯論部は今夏大望を抱いて渡滿を期してゐるが未だ確實性はない、尚恒例の夏季遊說として七月二十二日大阪より富山、長野、善光寺方面に赴くことになつてゐる、既に決定されたプランは次の如くである、八月七日夜大阪發、八月八日午前富山着、當日富山大會に遊說の第一擧を擧げ、次いで八月九日富山發同日午前中に長野着、此處に於て第二擧を、而して八月十日は善光寺、淺沼溫泉等を歴見し同日關西發經由で一路歸阪する豫定である

軌道に乘つた映畫研究會

論理的に研究を續く

既報の如く、映畫研究會の本質的使命の徹底的組織の後を受けて主任石幸君直ちに會内の設備を歴行し統制ある眞摯な映研の更生を見らるゝに至つたが最近同會の設備的内容については相當注目に値するものがある、先づ本年新學期に入つて百十餘名の新入會員を擁しその中より最も優秀なる人材の拔擢を行ふ結果十五名の主脳者を選ぶことゝなり、映研本來の使命目的に一路邁進しつゝある問題の映寫機購入も先般教授連の中を引張つて其實質的効果を目の當り展開して驚嘆方の泣き落しにかゝつたが當年度既に豫算も編成され寄附金も分配された後のことゝてこれが購入費支出方法は到底不可能と見られてゐる、然し同會では既に決定した主脳部に充分教育をほどこし、來るべき映研の爲に日々研鑽を論理的に考究してゐる、特に本年度改革され統制された既は各部門に專ら主任制を設けたことであつて次にその項目及主任名を御覧ください

一、シナリオ研究部　主任　山地　長雲
一、映畫技術研究部　主任　矢崎　守也
一、文化映畫研究部　主任　久條　好市
一、會誌編輯部　主任　柴田　圭造

なほ特記すべきは會誌編輯部の新設で文藝部でも新しく會誌部を設けた折柄同部内に於いても又こゝに會誌部が新設されることは同會の將來に何物か力强いものを感ずることが出來る、各部内に分つて百餘名の會員を所屬する部に配せしめこれが研究に充分の技術を發揮せしめんとするものであり先づ本年度既に充實の第一工作として北極星に於て彩衣高女映畫技術部數論三名を招聘しシナリオ構成並映畫技術を詳細に討究すべく座談會を開催に矢いで六月十三日京都各撮影所見學を擧行、特にJOに於いて町田カメラ技術部主任を圖み撮影並に映寫技術の研究討論等をどんく行つてゐる

日本アルプスへ

山岳部

此の冬伯耆大山の征服を皮切りに近畿各所の峻嶮を踏破したハリキリ學友會山岳部は昭和十二年度夏期行事としてその目標を種々物色當然中の盛過日潮くその大綱を決定した、初夏青葉の候より盛夏に移り今尚積雪の名殘りを留どむる日本の屋根であり且つ又本邦山岳界の最高目標たる維大なる日本アルプス縱走の壯擧を發表し七月中旬の決行期日を目前に控にて然るに

松竹撮影所見學の一行

劍の精華集まる

全國中等學校劍道優勝大會

兵庫師範優勝

優勝戰に進入したが來場校四十六校の内最後に殘つた兵庫師範、大阪商業は、白熱戰を演じ、終に兵庫師範の大勝利得となつて午後五時四十分閉會した

なほ同夜校内食堂において大方役員の慰勞歓迎會を行つた

惜くも連敗

馬術部腐る

プランの通り着々と其の實績を擧げつゝある馬術部は五月二十九日城東練兵場に職員の代表たる强敵の大阪商大馬術部及專高馬術部の二校を迎へて三校鞍抗試合を決行した、此の日快晴の鞍抗試合日和に惠まれて早くも午後二時には三校代表の各校選手は勿論觀衆全体として大阪外語馬術部一同の歓力を得て俱樂部教育員下會員一同、同部先輩等の後援で準備完了、午後三時競技開始、抽籤の結果同部は最も不利の條件たる先攻を第一回戰、第二回戰共に落勝したが遂に手一同大いに奮闘したが次の成績を以て午後六時終了解散した、その成績は

關大	百六十三點	(一)
大阪商大	百五十六點	(二)
大阪專高	三百五十四點	(三)

次いで終日大雨に見舞れ、ら、絢爛豪華の文藝祭と日を同じくして六月六日關西專高馬術部主催の全國學生馬術大會は堺市外金剛練兵場に於て決定された、出場者七名午前九時競技開始、栗田運動部長等の應援を得て折柄の猛雨も物ともせず全身ずぶぬれとなり、終に第一、二戰に各種競技に出場し、全國精鋭と最後迄大いに奮戰したが天運なきか惜敗した、次にスケジュールは

七月四日
廣島西練兵場に於ける全國馬術大會
七月中旬
馬術部、三部對抗試合
大阪外語馬術部と對抗試合
九月上旬
東都學生馬術大會
九月中旬
西日本高商リーグ戰於姫路練兵場

校友並に學生諸君に告ぐ

五十年の歴史は是學園内外充實の表徴なりと言ふべし

顧みるに吾等校友相互は勿論のこと在學生との有機的聯關全く缺如し、校友會亦無機能化せる現狀に鑑み茲に有機的活動的なる關西大學大成會を結成し、在學生との親交及びその指導保護に任ずると共に母校關西大學の隆盛發展に寄與せんことを期するものなり

乞ふ！絶大なる支援と申込と

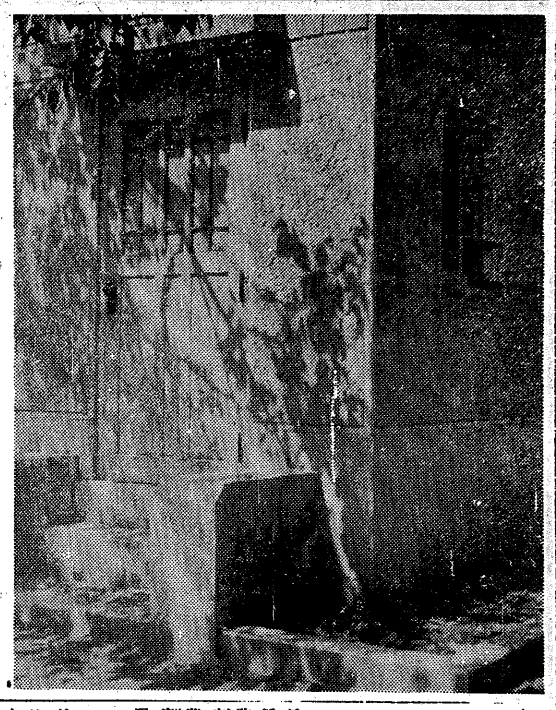
綱領

一、關西大學建學の主旨を重じ母校内外の隆盛發展に貢献せんことを期す
一、在學生の保護並にその指導に努め併せて母校名譽の對外的顯揚を期す
一、會員相互の親睦を圖り學發に努め併せて社會的進出並に地位の確保を期す

會則（抜萃）

第一章　名稱及事務所
第一條　本會は關西大學大成會と稱す
第二條　本會は事務所を大阪市内に置く
第二章　目的及事業
第三條　本會は會員相互の親睦並に在學生との親交を緊密にし併せて母校關西大學の隆盛を圖るを以て目的とす
第四條　前條の目的を達成するため左の事業を行ふ
一、大會を開催し會員相互の親睦を圖る
二、座談會、講演會の開催
三、機關紙の發行
四、其他必要なる事業
第三章　組織
第五條　本會は關西大學卒業生有志を以て組織す但し在學生は特別會員として入會することを得
（以下略）

關西大學大成會
臨時事務所
大阪市北北區芳野町二九番地（木藤安之方）



學藝

身邊雜事抄

教授　新町德之

一　性格教育

×月×日（土）曇●少雨。緑陰兩草勝花時の時季が來た午後一時過から少雨のなかを徒歩で同志社榮光館に於ける京都府教育會主催のシュプランガー博士講演會場に入る。私は強度の近眼だから一番前の片隅の椅子によつてゐるやがて清楚で御上品な西洋婦人が きて司會者と細かに相談するので聽衆の視線をひいた。きけばシュプランガー博士夫人だとのことである。講演は「性格教育に就いて」と題し通譯附、約二時間に亞つた。シュ氏の現代獨逸思想界に於ける位相の氣品ある醍醐味は大に味はふべきであらう。氏には「生活樣式」「青年心理」等の著書があり、哲學者としてはディルタイ●ジンメの諸家と共に「生の哲學」を提唱し教育學者としてはリット●レーマン●シュテルン諸氏とひとしく精神科學派としての文化教育學を稱道せられることは誰も知つてゐる。そして昨秋日本精神史への氏の寄與と影響とはその後者にあることも吉田熊次●入澤原郎●乙竹岩造●野田義夫●鑑眞助市●長田新●勝部謙三諸氏の著書、論文をみれば自らわかること也。

×月×日（日）雨●晴。風陽京都博物館に入つて「天鼓宗右衛門展」「下鴨社寶物展」を見る。平安太子ならびに天鼓●傳教●慈覺三大師の史料が殊に輝いてゐるのはいふまでもあるまい。下鴨展に於ける文久三年十二月十二日の孝明天皇の御宣命は畏けれども榮辱外交の急機に如何に感慨をなやましつゝばされた手を紙想し奉るに充分である。午後の雨晴れをよいしほとして大阪市に突進して市電、市バス、地下鐵などを利用して主要な十ヵ所餘りを見まぐろしい其の交通風景をながめて恐怯に入る。淀川の交叉點で千里山の若い女に見つけられたのも面白かつたか、へりは阪急食堂で昼夢の夕食を頂戴する。茲には何とお喜びすることまじいほど多いこと。

×月×日（金）晴。午後、大阪市日本橋の松坂屋、六階講廊に於ける「肉筆浮世展」をみる。やはり「關大國文學會」打合會に出て帰つたは十二時すこし前也。室直清大人の「赤穗義人錄」をあさる。夜はいたく更けにけりな。

×月×日（土）曇、晴。朝早くから機科の赤穗行の船旅に參加して「山鹿語類」●「鍋藏雜誌」發行「德川實紀」などを見る。赤穗行の結びをつけるためだ。

二　藤樹書院

×月×日（日）曇、晴、校友會大阪支部會の催しに參加して青葉若葉の比叡山中越をドライブして正午すぎ大正丸で近江舞子につきはすの網をみながら大急ぎで昼飯をいたゞき堅田、高司神社の肝煎りで臨時五人組をこしらへ電話で大津から自動車を呼んで來るや遅しとそれに飛び乘り一路過道香柳社に飛び降り藤樹神社の大殿前に額づきついで藤樹先生の御墓にまゐり藤樹書院に入つてしばし見學、またもや大急ぎで白髪神社まで引きかへすと大正丸一行はまだ來て居ないのでほつと安心し神社に御祈りして神域を逍遥する。爽りなので湖面は模糊として風景の眼に映ずるものはなかつが後の山は青葉若葉につゝまれて清新味がみちみちてゐる、山縣三公園の宇陵微雷と花はよくいつた。鳥居の眞東の水中で頻りに鑑賞をきしらしてゐるのはどれや大阪商人樂の寄附にかゝはる朱の大鳥居の基礎工作をするためだとのこと、向つて社の右側にさゝやかな清水がある傍らに大正七年十二月吉祥建立の碑がある それに與謝野寛しらひげの神のみ前にわくしみづこれをむすべば人の清まる晶子とほつてある、かくて待つ間ほどなく大正丸はついた中略、夜の宴會は京都市公會堂でひき開かれた、校友某氏の來賓人はなれのした餘興には誰もが拍手を惜まなかつた。蟹津、里山二君河原町通り四條に進出し長崎屋で冷しコーヒを飲んで華出度退散、東京の書店から關村利平氏「校註弘道館記」並「遜義」をよこす、東湖先生撰篆並に横寫手定本と國子祭水俗の題字が添つてゐるのがうれしい、遜義は會澤正志齋先生の「新論」と共に水戸學の標榜であり日本精神史上の好資料であることは誰でも知つてゐる。

×月×日（月）曇少雨大朝夕秋の小說永井荷風氏「濹東綺譚」は今夕で完となつた同紙朝秋山本有三氏「路傍の石」大阪毎日菊池寛氏「美しき鷹」横光利一氏「旅愁」と共に私自身の昭和文學鑑賞用としてゐるものである願ふに聖川、眞庭矢代、琴子、千鶴子、お雪、お米等のもてる人間不可思議な運命はやがて昭和十二年に深い呼吸をしてゐる若い男女の運命ではあるまいか、夜のラヂオで阿上肇氏が愈々近い内に大海代の御光をあふぎ得られることを知つて何とはなしに涙ぐましい感じがした、私は阿上氏の著書、論文には深い關心を有する。若し法律が其の擔手たる國家の實力に依つて内容を充實せしめんとするの運動を生ずるに至つたとすれば、文藝に依つて淨化されたる社會人は法律を惡法と罵り其の正義の力を暴力と抛棄する。惡法も觀念的には法律に相違ない。然し私は今法律の觀念的規定を企圖してゐるのではなくて法律の内容目的に就て其の文藝との關係を考へてゐるのである。法律の目的は其の擔手たる國家又は社會團體の秩序を維持し發達せしめるにある。法律は其の目的を實現せしめんとすることは其の目的に副はないことになり又事實上其の目的の達成は不可能であらう。茲に於て法律の取るべき道は一次高の文藝規範と協調することとある。正に文藝は法律に取つて一次高の理念型である。法律は從つて自己の禁止たる安定性を阻害しない範圍に於て其の理念型に近づくことに努力すべきである。是は翻り法律の無力の場面に於てのみ爲に涙ぐまれるものであつて法律と文藝との協調面を法律の解釋場に求めた所以である。法律をしてこの協調をなさしめる國家は最早共同社會團體でも利益社會團體でもなく正に其等を止揚し得た協調的社會團體であると云へやうか。（林内閣總辭職の號外を朝鮮刊中に見出した晩春の田舍）

文藝と法律との協調面

教授　和田豐二

（下）

遜德的實踐規範を文藝の規範性と同樣に社會生活を、更には民族的國民的精神を其の基盤として持つものである。個々の遜德的諸德が諸々の社會關係を内包する社會團體の實踐的規範たり得る爲めに其等諸德の一體化が要請される。遜德的社會は「性格教育」に就いて」と題し通譯附、約二時間に亞つた。シュ氏の現代獨逸思想界に於ける位相の氣品ある醍醐味は大に味はふべきであらう。氏には「生活樣式」「青年心理」等の著書があり、哲學者としてはディルタイ●ジンメの諸家と共に「生の哲學」を提唱し教育學者としてはリット●レーマン●シュテルン諸氏とひとしく精神科學派としての文化教育學を稱道せられることは誰も知つてゐる。そして昨秋日本精神史への氏の寄與と影響とはその後者にあることも吉田熊次●入澤原郎●乙竹岩造●野田義夫●鑑眞助市●長田新●勝部謙三諸氏の著書、論文をみれば自らわかること也。

×月×日（日）雨●晴。風陽京都博物館に入つて「天鼓宗右衛門展」「下鴨社寶物展」を見る。平安太子ならびに天鼓●傳教●慈覺三大師の史料が殊に輝いてゐるのはいふまでもあるまい。下鴨展に於ける文久三年十二月十二日の孝明天皇の御宣命は畏けれども榮辱外交の急機に如何に感慨をなやましつゝばされた手を紙想し奉るに充分である。午後の雨晴れをよいしほとして大阪市に突進して市電、市バス、地下鐵などを利用して主要な十ヵ所餘りを見まぐろしい其の交通風景をながめて恐怯に入る。淀川の交叉點で千里山の若い女に見つけられたのも面白かつたか、へりは阪急食堂で昼夢の夕食を頂戴する。茲には何とお喜びすることまじいほど多いこと。

×月×日（金）晴。午後、大阪市

正義は社會團體を前提とするものであり、從つて該團體の實力に依つて自己の規範性を實現するものであると云へる。社會團體の中で現今最も信頼し得るとも最も恐るべきものは國家である。國家に依つて特定の社會的正義が法律の内容として決定された時は法律的正義として國家の實力に於て自己を實現する。何故特定の社會的正義の法律的正義に變裝したかに就ては國家の政治的機能に於て說明さるべきであり、法律と政治との關係に關する別の考察に讓らるべきものであるが、それは兎も角として一旦國家に依つて決定された法律的正義は形式内容共に固定化する傾向を有する。他方文藝の實踐的規範は法律的正義と同樣民族的歴史に胚胎するものであるが而も常に理念型に向つて精進を續けてゐる關係上此文藝に依つて淨化され規整された社會は、其のもつ實踐的規範に於て、固定的法律的正義を内容とする法律規範よりも一次高の進歩を來たしてゐる。この差程が法律と文藝との不調を生ずるに至つたとすれば、文藝に依つて淨化されたる社會人は法律を惡法と罵り其の正義の力を暴力と抛棄する。惡法も觀念的には法律に相違ない。然し私は今法律の觀念的規定を企圖してゐるのではなくて法律の内容目的に就て其の文藝との關係を考へてゐるのである。法律の目的は其の擔手たる國家又は社會團體の秩序を維持し發達せしめるにある。法律は其の目的を實現せしめんとすることは其の目的に副はないことになり又事實上其の目的の達成は不可能であらう。茲に於て法律の取るべき道は一次高の文藝規範と協調することとある。正に文藝は法律に取つて一次高の理念型である。法律は從つて自己の禁止たる安定性を阻害しない範圍に於て其の理念型に近づくことに努力すべきである。是は翻り法律の無力の場面に於てのみ爲に涙ぐまれるものであつて法律と文藝との協調面を法律の解釋場に求めた所以である。法律をしてこの協調をなさしめる國家は最早共同社會團體でも利益社會團體でもなく正に其等を止揚し得た協調的社會團體であると云へやうか。（林内閣總辭職の號外を朝鮮刊中に見出した晩春の田舍）

出版の自由

教授　赤羽豐治郎

いま更、右の如き題目を取扱ふのは盤の骨頂、笑はれるかも知れない。尤も、法律的說明は私の任でないから、憲法へるが、先頃一寸した必要から、アダム●ミュラアの友フリイドリッヒ●ゲンツの事蹟を調べたことがある。その際、かれも亦このことに就て述べてゐるのに氣づいたから、つぎにしるしてみよう。

その前に、かれの立場が保守主義にあることを斷つておかなければならない。これは當時の獨逸の政治的淵源主義者に共通せる信仰といつていゝ。それが如何なる根據に基づいたか、は詳細なる考察を必要とするが、ロマンテークに先行した唯理的●唯物的思想、惹いて政治的には進歩的●自由的なものに對する反動として起つたことだけは大體にいひ得ると思ふ。ゲンツの「英國に於ける出版の自由」も專らこの見地からものされてゐる。曰く、「一度、社會的秩序ができあがると直ちに、數多の自然的權利が犧牲される。もともとこれらの權利が以前から存在してゐるかどうかは、非政治的考察の問題であつて、各人それぞれのシステムからこれを肯定し否定し、或はいづれにも與めなくてもよろしい。何れの權利も、それが本來何處から由來したのであるか別に關れなくてもいゝが兎も角社會的權利であり、又社會的權利となる佛し、社會的權利は、この權利の純粹權從は自由の相互の權約から推論されねばならぬから、無論既に考へられないのである。故に思想を著作並に印刷によつて普及せんとする權利も他の各權利と同樣に束縛を享けてゐる。社會に於て、すなはち言葉のたゞ一つ許さる眞實のものだ。

▲我本主義社會の諸々の虚僞と欺瞞は既に曝露され盡した。新しい我々の社會が今始まらうとしてゐる。だがその新生社會に生きんとする我等は、唯だこのまゝ曖昧的な生活態度に固着してゐて好いのだらうか、此の過渡期的混亂狀態の持續を今猶默過してゐて好い

教授として教授たらしめざる者は誰人ぞ、本學教授の一週間講演時間十八時間!!（帝大では六乃至八時間）本學教授の研究補助費一ヶ年四十五圓（帝大の約十分の一）これで滿足な研究が出來ると思ふか、研究室無く、斯くの如くして關大文化の貧困は當然なり、その責任は遂に式典に終りお祭騷ぎの思出となつた、淋しいものは飛躍なき歴史である

大學が歴史の古さのみを以つて誇りとするならば路端の石ころの方がはるかに古き歴史を持つ、一國文化の興隆を想ひ心せよ！理事

研究費補助費行費
育英費　金
金五千圓也
金五千圓也　金五千圓也
金間十八時間）本學教授の研究補助費一ヶ年四十五圓（帝大の約十分の一）これで滿足な研究が出來ると思ふか、研究室無く、斯くの如くして關大文化の貧困は當然なり、その責任は遂に式典に終りお祭騷ぎの思出となつた、淋しいものは飛躍なき歴史である

大學が歴史の古さのみを以つて誇りとするならば路端の石ころの方がはるかに古き歴史を持つ、一國文化の興隆を想ひ心せよ！理事

大學論

西米春水

一　性格教育

×月×日（土）曇●少雨。緑陰兩草勝花時の時季が來た午後一時過から少雨のなかを徒歩で同志社榮光館に於ける京都府教育會主催のシュプランガー博士講演會場に入る。私は強度の近眼だから一番前の片隅の椅子によつてゐるやがて清楚で御上品な西洋婦人が きて司會者と細かに相談するので聽衆の視線をひいた。きけばシュプランガー博士夫人だとのことである。講演は「性格教育に就いて」と題し通譯附、約二時間に亞つた。シュ氏の現代獨逸思想界に於ける位相の氣品ある醍醐味は大に味はふべきであらう。氏には「生活樣式」「青年心理」等の著書があり、哲學者としてはディルタイ●ジンメの諸家と共に「生の哲學」を提唱し教育學者としてはリット●レーマン●シュテルン諸氏とひとしく精神科學派としての文化教育學を稱道せられることは誰も知つてゐる。そして昨秋日本精神史への氏の寄與と影響とはその後者にあることも吉田熊次●入澤原郎●乙竹岩造●野田義夫●鑑眞助市●長田新●勝部謙三諸氏の著書、論文をみれば自らわかること也。

×月×日（日）雨●晴。風陽京都博物館に入つて「天鼓宗右衛門展」「下鴨社寶物展」を見る。平安太子ならびに天鼓●傳教●慈覺三大師の史料が殊に輝いてゐるのはいふまでもあるまい。下鴨展に於ける文久三年十二月十二日の孝明天皇の御宣命は畏けれども榮辱外交の急機に如何に感慨をなやましつゝばされた手を紙想し奉るに充分である。午後の雨晴れをよいしほとして大阪市に突進して市電、市バス、地下鐵などを利用して主要な十ヵ所餘りを見まぐろしい其の交通風景をながめて恐怯に入る。淀川の交叉點で千里山の若い女に見つけられたのも面白かつたか、へりは阪急食堂で昼夢の夕食を頂戴する。茲には何とお喜びすることまじいほど多いこと。

×月×日（金）晴。午後、大阪市日本橋の松坂屋、六階講廊に於ける「肉筆浮世展」をみる。夜をそく「關大國文學會」打合會に出て帰つたは十二時すこし前也。室直清大人の「赤穗義人錄」をあさる。夜はいたく更けにけりな。

×月×日（土）曇、晴。朝早くから機科の赤穗行の船旅に參加して「山鹿語類」●「鍋藏雜誌」發行「德川實紀」などを見る。赤穗行の結びをつけるためだ。

二　藤樹書院

×月×日（日）曇、晴、校友會大阪支部會の催しに參加して青葉若葉の比叡山中越をドライブして正午すぎ大正丸で近江舞子につきはすの網をみながら大急ぎで昼飯をいたゞき堅田、高司神社の肝煎りで臨時五人組をこしらへ電話で大津から自動車を呼んで來るや遅しとそれに飛び乘り一路過道香柳社に飛び降り藤樹神社の大殿前に額づきついで藤樹先生の御墓にまゐり藤樹書院に入つてしばし見學、またもや大急ぎで白髪神社まで引きかへすと大正丸一行はまだ來て居ないのでほつと安心し神社に御祈りして神域を逍遥する。爽りなので湖面は模糊として風景の眼に映ずるものはなかつが後の山は青葉若葉につゝまれて清新味がみちみちてゐる、山縣三公園の宇陵微雷と花はよくいつた。鳥居の眞東の水中で頻りに鑑賞をきしらしてゐるのはどれや大阪商人樂の寄附にかゝはる朱の大鳥居の基礎工作をするためだとのこと、向つて社の右側にさゝやかな清水がある傍らに大正七年十二月吉祥建立の碑がある それに與謝野寛しらひげの神のみ前にわくしみづこれをむすべば人の清まる晶子とほつてある、かくて待つ間ほどなく大正丸はついた中略、夜の宴會は京都市公會堂でひき開かれた、校友某氏の來賓人はなれのした餘興には誰もが拍手を惜まなかつた。蟹津、里山二君河原町通り四條に進出し長崎屋で冷しコーヒを飲んで華出度退散、東京の書店から關村利平氏「校註弘道館記」並「遜義」をよこす、東湖先生撰篆並に横寫手定本と國子祭水俗の題字が添つてゐるのがうれしい、遜義は會澤正志齋先生の「新論」と共に水戸學の標榜であり日本精神史上の好資料であることは誰でも知つてゐる。

×月×日（月）曇少雨大朝夕秋の小說永井荷風氏「濹東綺譚」は今夕で完となつた同紙朝秋山本有三氏「路傍の石」大阪毎日菊池寛氏「美しき鷹」横光利一氏「旅愁」と共に私自身の昭和文學鑑賞用としてゐるものである願ふに聖川、眞庭矢代、琴子、千鶴子、お雪、お米等のもてる人間不可思議な運命はやがて昭和十二年に深い呼吸をしてゐる若い男女の運命ではあるまいか、夜のラヂオで阿上肇氏が愈々近い内に大海代の御光をあふぎ得られることを知つて何とはなしに涙ぐましい感じがした、私は阿上氏の著書、論文には深い關心を有する。若し法律が其の擔手たる國家の實力に依つて内容を充實せしめんとするの運動を生ずるに至つたとすれば、文藝に依つて淨化されたる社會人は法律を惡法と罵り其の正義の力を暴力と抛棄する。惡法も觀念的には法律に相違ない。然し私は今法律の觀念的規定を企圖してゐるのではなくて法律の内容目的に就て其の文藝との關係を考へてゐるのである。法律の目的は其の擔手たる國家又は社會團體の秩序を維持し發達せしめるにある。法律は其の目的を實現せしめんとすることは其の目的に副はないことになり又事實上其の目的の達成は不可能であらう。茲に於て法律の取るべき道は一次高の文藝規範と協調することとある。正に文藝は法律に取つて一次高の理念型である。法律は從つて自己の禁止たる安定性を阻害しない範圍に於て其の理念型に近づくことに努力すべきである。是は翻り法律の無力の場面に於てのみ爲に涙ぐまれるものであつて法律と文藝との協調面を法律の解釋場に求めた所以である。法律をしてこの協調をなさしめる國家は最早共同社會團體でも利益社會團體でもなく正に其等を止揚し得た協調的社會團體であると云へやうか。（林内閣總辭職の號外を朝鮮刊中に見出した晩春の田舍）

文藝祭を觀る

N・F生

蘭綺爛てふ文字は其儘當夜の感ぢ、右の爲めに驚かされ候は誠に飛躍なる思ひつきにて候、學生衆にありては夏休みに折角古今東西萬卷の書を披見せられ天晴「名文」な御書き上げあり度く願入候去り乍ら「關大文化」とのみにては餘りに空漠いたし從而向上も成難く存じ誠に僭上乍ら題目を擬定仕り豫じめ御默考の一助とも致し候錄、結く御努力の程持ち居り候、右は諸先生方殊の外御感激の模樣にて候、其れ人へも御苦心の結果に候ひ、其れ人へも御傳有之度く候、「若き血にゆる者」世界の王者、學界の覇者をもちまして、一統神經衰弱に御座んす。手前とても唯今何かと未学も宏く有り度く、風に因果のもとを明らかにせられ度く候、學友又一つには諸學者の敬も如何にや

方今「關大文化向上」云々の議有達にあづかりましたら何とも有難い事にござんす。是つ非右の程御樂へを願ひ升。御禮見の通り手前しがない神經衰弱の者、インフレの結果にござんす。御意通り手前持ちまする貧弱頭脳にござんす。此度夏休みを以て、旅立ちますに當り、學問仕入れにも御座んす。當分嘱託書、教授會、處分、御報告致し度き事、御免蒙ります。何分專門部本學部は多事多端、主事教授はじめ御苦勞に御座んす。お蔭御諒解有之度く候、「若き血にゆる者」世界の王者、學界の覇者をもちまして、一統神經衰弱に御座んす。手前とても唯今何かと未学も宏く有り度く、風に因果のもとを明らかにせられ度く候、學友又一つには諸學者の敬も如何にや

うどざんす。

爲後日一札仍而如件

西萬卷の書を披見せられ天晴「名文」な御書き上げあり度く願入候去り乍ら「關大文化」とのみにては餘りに空漠いたし從而向上も成難く存じ誠に僭上乍ら題目を擬定仕り豫じめ御默考の一助とも致し候錄、結く御努力の程持ち居り候、右は諸先生方殊の外御感激の模樣にて候、其れ人へも御苦心の結果に候ひ、其れ人へも御傳有之度く候、「若き血にゆる者」世界の王者、學界の覇者をもちまして、一統神經衰弱に御座んす。手前とても唯今何かと未学も宏く有り度く、風に因果のもとを明らかにせられ度く候、學友又一つには諸學者の敬も如何にや

會自治の精神は仲々に貴き極みにて候ひ、此後とも其傾統は誇つて然るべく存じ候、此度學友某氏先生にあり度く候、此度學友某氏先生は位向上を願はれ、從而「何分の」擬助に上を願はれ、從而「何分の」擬助に上を願はれ、從而「何分の」擬助に